

## 友野和子

かわせみ通信

No. 7 2022.11

ホームページを  
開設しました！

9月議会が終わり、人生の節目（還暦）を迎えました。色々な節目の行事を終え、ようやく新たな気持ちでスタートを切りはじめております。柳瀬川沿いのコスモス畑を見に行った時、地域の文化は自治体を超えて繋がっていると感じました。また、世界に目を向けるとウクライナで起きている戦争で、ロシアは情報によって国民を扇動し、戦地に国民を送り込んで勢力を広げています。電気やガスや自然エネルギーや各種資源を循環させてゆくとといった課題（SDGs）に取り組まなくてはならない時代に、覇権（大国）主義の侵略は、多くの資源と環境破壊を起こし地球全体に広がっておりますが、その責任はだれが負うのでしょうか？そこに便乗して飛んでくる北朝鮮のミサイル。武力で他国を脅かし自国を繁栄させる行為の国家に国民は賛同しているのでしょうか？敗戦・震災など多くの苦難を乗り越えてきた日本は、これからも国（自然・海・未来）を守っていけるのか？情報化の時代はグローバル（グローバルとローカルの両方の発想）が大切です。国民が日常に平和を求め、共に繁栄を望み、努力をして築いてきた五穀豊穡の日本の文化芸術や歴史を再確認し、これからの時代を創る仲間と一緒に、清瀬から未来を切り開いていけたらと考えております。この冬は、厳しい環境で過ごす人々のことを忘れずに過ごしたいと思っております。

## 福祉保健常任委員会の視察について

福祉保健常任委員会のメンバーで10月26日東京都区内の二か所の視察に行きました。

## 【豊島区の高齢者フレイル対策について】

一番単身者が多いという現状から、全国で一早く対策に取り組んできております。ヒヤリングフレイル（聞き取る機能の衰え）の発見の取り組みや身体フレイルの検査機器の具体的な体験や取り組みについて。

## 【江戸川区のひきこもり相談の取り組みについて】

調査方法や取り組みの全容について。

どちらの区においても、対策が進んだ背景には、将来を考え問題意識を持った市長や行政の行動力と住民のネットワークや職員の働きがありました。支えられる側が支える方に代わる市民参画の取り組みにスマートさを感じて帰ってきました。



## 多摩六都科学館議会の報告・取り組みについて



令和4年度多摩六都科学館組合の報告ですが、感染症での人数制限がなくなり、利用率は昨年より62.3%増え、コロナ前に近づいてきております。大人向けのプラネタリウムは毎月1回水曜日1時半から特別なプログラムで開催中。多摩六都科学館は地域にとって人生100年時代において大人の生涯学習を支える身近な施設です。『たまるくとウィーク』では、清瀬市は11月29日から12月18日まで、在住・在学・在勤の方は入館料が半額となります。是非ご利用ください。

# 私 の 一 般 質 問

「未来を創造する若い市長」(スローガン)との市政を考えるにあたり、庁舎の整備が整い、それを生かすべく。少子高齢化の問題の糸口となる清瀬市のDXについて、各方面において取り上げていくことにしました。これからの少子高齢化において持続可能な社会保障制度を支え合っていくには、DXを使いこなす市民の行動が不可欠です。コロナ禍により、平成2年度学校では全国一斉にオンライン教育が前倒しですすめられ、個人での携帯のスマートフォン比率は、2022の4月の時点で94%を超え体制が整いました。子どもに負けずに大人(私)も使いこなしたいものです。



## 6月 議会について (抜粋)

### 【DX推進計画について】

「進化したIT技術を浸透させ、人々の生活をより良いものへと変革させる」意味ですが、市民の行政手続きの電子申請サービスは令和2年コンビニでの証明証の所得から始まり、令和3年度はスマートフォンからも可能となり5年前に比べて約4倍に増加しました。今年からはロゴフォームという簡単な電子申請が始まり、がん検診など利用率は更に増加しています。子育て関連では、児童手当などの「ピットリサービス」を含め、10月から電子母子手帳としての機能するアプリ「母子モ」も導入され、成長の記録等が家族で共用され、予防接種などの対応が減り、今後のオンライン相談の体制にもつながります。コロナのワクチンの申し込みも、当初窓口で直接申し込みに来られた市民が列を作って並んだ頃より順調に進んでおります。また、清瀬市のマイナンバーの所得率(5月時点)は47.5%となり、青梅市とならんで26市中8位だそうです。来年4月には、健康保険証もマイナンバーと連携するそうですが、高齢化が進むと薬の管理などが難しくなりマイナンバーで管理されることが、医療費の軽減や効率化につながる為、マイナンバー所得(スマートな市民)の協力が求められております。



清瀬の文化の再発見！楽しい体験となりました。

### 【清瀬の文化の情報発信について】

下宿の伝統行事(ふせぎ：清瀬からコロナを防ぐ意を込めて)を使われていない古民家の森田家で行いSNSなどの情報発信をしてみてもどうかと提案。11月に提案が実現♡(写真)清瀬の文化の再発見！楽しい体験となりました。

## 9月 議会について (抜粋)

### 【AIを使った婚活サービスについて】

コロナ禍において大学はオンライン化が進みキャンパスでの授業は殆どなくなり、アルバイト先も減り、適齢期の若者の出会いの機会が減りました。今年日本の少子化に拍車がかかりました。昔は女性が高学歴になったから少子化が進んだといわれておりましたが、北欧では、働いている女性の方がパートナーとのお互いの理解が進んでいるため、在宅勤務で手伝ってもらえる時間が増えて出産率が増加したそうです。日本でも、在宅勤務を利用した地方での就職(Uターン就職)が進むと共にAIを使った婚活サービスがかなり成功しています。清瀬市でも若い世代の方に向けて細やかに結婚や子育てが安心してできる市の体制を進めてきておりますが、出会いの機会(婚活事業)としてAIやDXを利用出来ないものか？また、都の対策は場の提供で、あとは民間に任せる方向であるようですが、高額であったり、詐欺にあたりするケースもあるので、自治体(三多摩)で協力しあって取り組めないものか？たとえば鉄道を利用した婚活・多摩六都の天体観察zoom等、今の事業に工夫やアイデアを加えてみてどうかと質問しました。

## 9月 特別決算委員会 より

### 【市の決算について】

今回コロナの総決算とでもいうべき内容でした。(詳細は市議会だより)本年度、国民健康保険や後期高齢者医療保険の保険料の見直しがあります。コロナでの給付の内容も含め、これからのフレイルにおける認知症の問題など、課題は山積みです。社会保障を持続可能にするといった上での各年代において収入に細かく応じた負担です。非課税世帯や低所得者には市や都からの補助もあり、バランスのとれた保険料の改正です。